

いつまでも歯を大切に ～歯っぴーライフ～

6月1日、保健センターで「歯っぴーライフ」が開催されました。「8020表彰」では、80歳で歯が20本以上ある20人が表彰され、「はつらつ家族表彰」では、昨年度の3歳児健診でむし歯がない親子4組が表彰されました。

表彰後、歯科健診、歯科相談、フッ素塗布などが行われ、歯や歯ぐきの状態の確認や、自分のむし歯菌を顕微鏡で見ると、歯について学ぶ機会となりました。

歯を大切に、楽しく食事や会話ができる健康的な生活を送りたいですね。



みんなで植えると楽しいね！田植え体験

6月8日と9日、市内で田植え体験が行われました。8日は、下野町大井で大井保育所の園児が田植えに挑戦線に沿って上手に植えることができました。収穫後のもち米は餅つきに、わらも、しめ縄などに使用する予定です。

9日は、小梨町と下野町大井で田んぼアートを開催。小梨町では、市内外から約50人が参加しました。武田耕士さん(竹原市中央)は、「今年で2回目の参加です。なかなかできない経験なので、良いですよね。」と、息子の侑也くん、順也くんと共に、親子で田植えを楽しんでいました。

また、下野町大井の田んぼアートは、広島大学の学生がデザイン。昼食には、竹原の食材をふんだんに使ったおにぎりやカレーなども振る舞われました。村谷海由希さん(東広島市立高美が丘小学校4年)は、「ものすごく楽しかった！絵が浮かび上がるのが楽しみ。」と、笑顔で話してくれました。各地域で、世代や地域の垣根を越えた交流が生まれた田植え体験。実りの秋が楽しみです。



6月17日～21日の間、市内4校の中学生が、127の事業所で職場体験学習を行いました。

市立竹原書院図書館では、竹原中学校・賀茂川中学校・忠海中学校から合計5人の生徒が、職員に教わりながら、貸出・返却の処理、市内小中学校へ貸し出す本の点検、書庫の整理



中学生が職場を体験～キャリア・スタート・ウィーク～



などの作業を行いました。

「返却の作業が一番楽しい。」と言っていたのは、竹原中学校の岡野聖也くん。最終日は、慣れた手つきでバーコードを読み取っていました。

将来や仕事について、考えるきっかけとなったのではないのでしょうか。



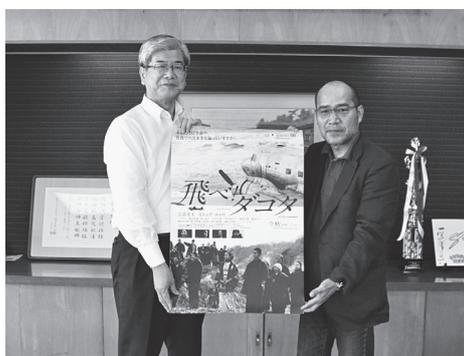
アレルギーの基礎を学ぶ

5月31日、勤労青少年ホームで、消費者月間講演会が開催され、広島西医療センターの白尾謙一郎さんが、アレルギーのメカニズムや発症について講演しました。アレルギーを引き起こす様々な原因が説明され、参加者は熱心に聞き入っていました。



竹原出身の映画監督

6月6日、竹原市出身の映画監督、油谷誠至さんが、市長を表敬訪問しました。今秋公開の映画「飛べ!ダコタ」の制作の様子や、映画監督を志したきっかけ、今後の展望などを話してくれました。「竹原の子どもたちの希望になれば」と油谷監督。映画の公開が楽しみです。



ホタルを見に よく来てくれたね

6月8日、小梨スポーツ広場で、第5回ホタルまつりが開催されました。ポン菓子のプレゼントや、グルメコーナー、ビンゴゲームで、来場者をあたたかくもてなしました。暗くなると川の近くに移動し、ホタルを鑑賞。夜空に舞う幻想的な光に見とれていました。



心をひとつに ふれあい運動会

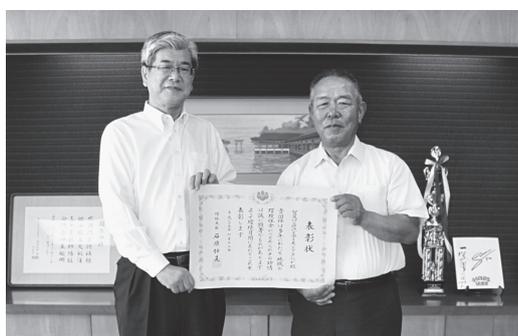
6月9日、バンブー体育館で、ふれあい運動会が開催されました。市内に住む障害のある人、福祉団体、ボランティアなど、235人が参加し、玉転がしやパン食い競争などを楽しみました。競技者もサポートする人も笑顔あふれる運動会となりました。



元気な挨拶で一日がスタート!

6月7日、竹原中学校で、挨拶運動が行われました。朝、竹原中学校の先生、PTAの役員に加えて、校区の4小学校の校長先生も校門に立ち、登校してくる生徒たちと、「おはようございます」と元気に挨拶を交わしました。

まだ眠そうな顔をした生徒も、「竹中挨拶ゾーン」の看板が置かれた校門では、一旦止まってお辞儀をし、礼儀正しく挨拶をしていました。みなさんが掛け合う爽やかな挨拶が朝の学校を包み、新しい一日がスタートしました。



賀茂川の源流を守る活動 表彰

6月12日、「賀茂川の源流を守るネットワークにか」が、地域環境保全功労者として環境大臣から表彰を受けました。

賀茂川の源流を守る植樹や草刈り、川あそび交流会などの環境保護の意識啓発活動が認められました。

6月13日、代表の天内茂樹さんが市長を表敬訪問し、12年間の活動内容や受賞の喜びなどを話してくれました。

「市民のみなさんに見に来ていただけるよう、賀茂川の源流を整備したい。」と天内さん。これからも美しい賀茂川を守る活動に注目ですね。

※活動内容は、広報たけはら平成25年5月号の22ページで紹介しています。